

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈 小・63 〉 いわき市立勿来第三小学校
〈実施日〉	平成28年6月16日(木)
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他(職員研修)
〈実践内容〉	平成27年度 放射線教育推進支援事業「放射線等に関する指導資料」[第5版]参照 第1学年 「ほうしゃせん なににきをつければいいの」 ねらい 放射性物質の存在を知り、放射性物質を体にたくさん取り込まないように、気を付けて生活しようとする。
授業展開	1 外から帰ったら、なぜうがいや手洗いをするのか考える。 2 学習のめあてをとらえる。 めあて 「ほうしゃせん なににきをつければいいの」 3 放射性物質から影響を受けないための方法について話し合う。 (1) 放射線や放射性物質の意味について知る。 ○ 放射性物質は、放射線(目に見えないビーム)を出すもの。 ○ 放射線は人から人にはうつらない。 (2) 放射性物質の多い場所について話し合う。 ・草むらや芝生の上 ・側溝 ・木の根元 ・水たまり ・雨どい (3) 放射性物質を体に取り込まないために、気を付けることについて話し合う。 ○ 外で遊んだら、うがいや手洗いをし、顔についた土や砂を洗い落とす。 ○ 服についたほこりや、靴についた土などを落としてから教室や家に入る。 ○ お風呂に入ったり、シャワーを浴びたりして、体を清潔に保つ。 ○ 風が強いときは窓を閉める。 ○ 川や水たまりの水・土や砂を口に入れないようにする。 ○ 心配なときは、家族や先生に相談する。 (4) ホットスポットについて知る。
4 先生をお話を聞く。	・日常生活でこれから気を付けたいことを確かめ、本時のまとめを行う。
まとめ	○ 放射線は人にうつることはないが、ばい菌やほこりと同じように、放射性物質を体に入れないように、うがいや手洗いなどをしっかり行う。 ○ ホットスポットに近づかない。
〈成果〉	震災から5年が過ぎ、また震災当時1～2歳だった1年生は、あまり放射能に対して危機感がない。そこで、「ほうしゃせん なににきをつければいいの」を学習することにより、放射線から身を守る方法や心構えを知り、実践しようとする意欲をもつことができたように思う。
〈課題〉	避難訓練などの学校行事と関連させて指導したい。
資料作成担当者職(講師)氏名(赤津富美子)	学校電話番号(65-2623)